

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング
 コード番号 6638 URL <http://www.mimaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 久之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小林 修
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0268-64-2281

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	29,279	31.0	2,015	330.3	1,052	—	569	—
25年3月期第3四半期	22,342	13.3	468	7.0	28	△94.0	△82	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,258百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △168百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	42.55	42.26
25年3月期第3四半期	△6.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	32,649	7,676	23.5
25年3月期	29,691	6,495	21.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,657百万円 25年3月期 6,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,486	23.8	2,415	157.8	1,413	—	759	471.6	56.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	13,920,000 株	25年3月期	13,920,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	499,865 株	25年3月期	573,865 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	13,383,230 株	25年3月期3Q	13,343,157 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります^が、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、個人消費の回復が顕著となった米国、政府債務問題が小康状態にある欧州、円安株高局面の日本等、主に先進国が主導する形で景気の回復基調が続いた一方、米国金融緩和と政策の出口戦略が新興国に与える影響や、欧州債務問題の再燃の可能性等を勘案すると、今後の見通しは不透明感を拭えない状況にあります。また日本経済は、平成26年4月の消費税率8%への引き上げを見越した駆け込み需要は期待できるものの、その反動による需要減退やコストアップ、消費者物価上昇による実質賃金の低下は、中期的な国内の景気動向に大きな影響を与えることが予想されます。

このような状況の中、当社グループは“M500スタート”をスローガンに掲げ、連結売上高500億円を次なる目標として見据えた全社的な体質強化に取り組むとともに、お客様のデジタル・オンデマンド生産をサポートするための施策を積極的に展開いたしました。

具体的施策としましては、SG（サイングラフィックス）市場向けでは、主力の既存エントリーモデルと新興国向け仕様のSWJ-320の拡販に努め、また環境ニーズの高まりを受けて発売したJV400LXシリーズについて、その専用水性ラテックスインクを従来の5色構成から7色構成とすることで画質の向上を図り、製品の訴求力を強化いたしました。IP（インダストリアルプロダクツ）市場向けでは、デスクトップタイプの小型サイズで主力エントリーモデルのUJF-3042HG及びUJF-6042の拡販に努めたほか、大型サイズで高速・高画質の上位機種であるJFX500-2131の本格販売を開始するとともに、JFX500-2131の半値程度に価格を抑えた大型サイズのエントリーモデルとなるJFX200-2513を平成25年12月に発売いたしました。また、TA（テキスタイル・アパレル）市場向けでは、ポリエステル素材のファッションウェア、スポーツウェア及びソフトサイン製作用途で成長著しい昇華プリント市場に向けて、エントリーモデルのTS34-1800A、上位機種のTS500-1800及びTx500-1800DSの積極販売に取り組むとともに、綿や絹等のテキスタイル捺染市場に向けた上位機種となるTx500-1800Bを平成25年10月に発売いたしました。

その他の取り組みとしまして、海外においては、平成25年4月にシンガポールとオーストラリアに販売子会社を設立したほか、同6月に上海御牧貿易有限公司が北京営業所を、同9月にMIMAKI EUROPE B.V. がトルコにイスタンブールテクニカルセンターを、さらに同10月にMIMAKI USA, INC. がニュージャージー支店、テキサス支店を開設いたしました。また、国内においても平成25年4月に京都営業所、同6月に神戸営業所、同9月に四国営業所を開設し、国内外における地域密着型の専門的かつきめ細やかな販売・保守サービスの強化を推し進めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は292億79百万円（前年同期比31.0%増）、営業利益は20億15百万円（同330.3%増）、経常利益は10億52百万円（前年同期は経常利益28百万円）、四半期純利益は5億69百万円（前年同期は四半期純損失82百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より新たにオーストラリアに連結子会社を設立したことに伴い、従来「アジア」としていた報告セグメントを「アジア・オセアニア」に名称変更しております。

（日本）

日本セグメントは、13ヶ所の営業拠点による日本国内販売とアジア・パシフィック地域（一部地域を除く）に向けた販売を展開しております。日本国内におきましては、既存製品を中心に堅調な売れ行きであったSG市場向けに加え、IP市場向けではJFX500-2131、UJF-6042が、TA市場向けではTx500-1800DSが販売台数を伸ばし、また、顧客参加型のワークショップ「MAL (Mimaki Application Lab.)」を無料開講し、顧客の利益を生み出すための当社製品の活用方法を紹介するなど、サービス、サポート面での強化を図った結果、前年同期の日本国内での売上を上回りました。アジア・パシフィック地域向けにおきましては、前年度まで当セグメントの販売エリアであったメキシコ以南のブラジルを除く中南米地域向けの販売をMIMAKI USA, INC. に、中東及びアフリカ地域向けの販売をMIMAKI EUROPE B.V. に営業移管いたしました。このため、IP市場向けのUJF-6042、TA市場向けの既存昇華モデルTS34-1800Aが販売台数を伸ばしたものの、SG市場向けの売上が大きく減少したため、アジア・パシフィック地域向けの総売上は減少いたしました。その結果、日本セグメントの外部顧客に対する売上高は92億84百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は21億78百万円（同197.0%増）となりました。

（北米）

北米セグメントは、販売子会社MIMAKI USA, INC. による北米地域向けの販売に加え、時差が少ない地理的メリットを活かした機動的な営業・保守サービス活動を図るため、前年度まで日本セグメントの販売エリアであったメキシコ以南のブラジルを除く中南米地域向けの販売をMIMAKI USA, INC. に営業移管いたしました。北米地域向けにおきましては、SG市場向けのエントリーモデルが順調に販売台数を伸ばしたことに加え、IP、TA市場向けもUJF-6042や500シリーズが売上増加に貢献したこと等により、各市場向けとも好調に推移したほか、円安ドル高の為替影響による押し上げ効果もあり、前年同期の北米地域向けの売上を大きく上回りました。中南米地域向けにおきましては、SG市場向けのエントリーモデル及び新興国向け仕様のSWJ-320を中心とした拡販に努めたものの、わずかに前年同期の売上を下回りました。その結果、北米セグメントの外部顧客に対する売上高は49億85百万円（同77.8%増）、営業利益は1億61百万円（同267.2%増）となりました。

(欧州)

欧州セグメントは、欧州各国への販売を行う子会社MIMAKI EUROPE B.V.とドイツにおける販売子会社Mimaki Deutschland GmbHによる欧州地域向けの販売に加え、時差が少ない地理的メリットを活かした機動的な営業・保守サービス活動を図るため、前年度まで日本セグメントの販売エリアであった中東及びアフリカ地域向けの販売をMIMAKI EUROPE B.V.に営業移管いたしました。欧州地域向けにおきましては、既存製品を中心に堅調な売れ行きであったSG市場向けに加え、IP市場向けではUJF-6042、JFX500-2131が、TA市場向けではTS500-1800、TS34-1800Aが売上増加に貢献したことにより好調に推移したほか、円安ユーロ高の為替影響による押し上げ効果もあり、前年同期の欧州地域での売上を大きく上回りました。中東及びアフリカ地域向けにおきましては、主にSG市場向けのエントリーモデル及び新興国向け仕様のSWJ-320が販売台数を伸ばしたことで、前年同期の売上を上回りました。その結果、欧州セグメントの外部顧客に対する売上高は98億70百万円（同54.7%増）、営業利益は2億61百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

(アジア・オセアニア)

アジア・オセアニアセグメントは、中国の製造子会社の御牧噴墨打印科技（浙江）有限公司と販売子会社の上海御牧貿易有限公司、台湾で部品調達、インク組立、製品販売及びプリントサービスを行う台湾御牧股份有限公司、インドネシアの販売子会社PT. MIMAKI INDONESIA、平成25年4月に設立したシンガポールの販売子会社MIMAKI SINGAPORE PTE. LTD.、同4月に設立したオーストラリアの販売子会社MIMAKI AUSTRALIA PTY LTDによる各国での積極的な販売推進活動に努めました。中国におきましては、SG市場向けのエントリーモデル及びIP市場向けのUJF-6042が販売台数を伸ばして売上が大きく増加したほか、その他各国におきましてもSG、IP市場向けを中心に堅調に推移いたしました。その結果、アジア・オセアニアセグメントの外部顧客に対する売上高は35億50百万円（前年同期比61.2%増）、営業利益は1億18百万円（同0.7%減）となりました。

(中南米)

中南米セグメントは、ブラジルの販売子会社MIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDAにおいて、ブラジル市場での販売体制の整備、販路の開拓、当社グループ製品の訴求に注力するなど積極的な販売推進活動を推し進めました。特にTA市場向けの昇華モデルTS500-1800及びTSシリーズが売上増加に貢献しましたが、業容拡大に伴い人件費や物流費等の固定費も増加いたしました。その結果、中南米セグメントの外部顧客に対する売上高は15億88百万円（同22.7%増）、営業損失は1億30百万円（前年同期は営業損失19百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における機種群別の売上は次のとおりであります。

	売上高（千円）	構成比率（%）	対前年同期増減率（%）
SG市場向け	16,086,627	54.9	17.7
IP市場向け	7,449,254	25.4	47.7
TA市場向け	3,015,314	10.3	78.0
保守部品	1,886,206	6.5	38.7
その他	841,821	2.9	45.6
合計	29,279,224	100.0	31.0

また、当第3四半期連結累計期間の品目別の売上は次のとおりであります。

	売上高（千円）	構成比率（%）	対前年同期増減率（%）
製品本体	15,897,786	54.3	35.2
インク	9,172,762	31.3	27.0
保守部品	1,886,206	6.5	38.7
その他	2,322,469	7.9	15.8
合計	29,279,224	100.0	31.0

(SG市場向け)

主力既存エントリーモデルのなかでも、JV33シリーズは欧米先進国地域や新興国地域での販路の拡大等に伴い、底堅く販売台数を伸ばし続けるロングセラー製品として売上に貢献し、さらに、価格と画質、プリント幅等のニーズを的確に捉えた新興国向け仕様のSWJ-320が順調に推移したことにより、製品本体、インク等消耗品のいずれも堅調に推移いたしました。その結果、売上高は160億86百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

(IP市場向け)

環境対応に優れ、様々な素材にプリント可能なUV硬化インクの特性を活かせるIP市場向け製品の中で、主力機種となったUJF-3042HGのプリントサイズを2倍に広げ、工業印刷が求めるより精細な画質を実現した上位機種UJF-6042が好調に推移し、本格販売を開始した大型フラットベッドプリンタの上位機種JFX500-2131も販売台数を伸ばしたことにより、インク等消耗品も含め売上増加に大きく貢献いたしました。その結果、売上高は74億49百万円（同47.7%増）となりました。

（TA市場向け）

プリント後の洗い工程が不要で、環境面とコスト面で優位性のある昇華プリント方式の提案が奏功し、昇華プリンタの既存エントリーモデルであるTSシリーズ、高速・高画質の上位機種である500シリーズともに販売台数を伸ばしました。なかでも、TS34-1800Aが欧州と新興国地域においてファッションウェア、スポーツウェア及びソフトサイン用途で特に好調に推移いたしました。また、昇華染料インクの売上が著しく伸び、TA市場向け全体の売上押上げに大きく貢献いたしました。その結果、売上高は30億15百万円（同78.0%増）となりました。

（保守部品）

製品本体の販売台数を伸ばしたこと等に伴い、売上高は18億86百万円（同38.7%増）となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月11日に公表した予想から修正しておりません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。今後の業績予想数値に修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,563,514	5,956,876
受取手形及び売掛金	5,819,360	6,377,482
商品及び製品	7,606,613	7,391,410
仕掛品	502,555	675,835
原材料及び貯蔵品	2,368,246	2,475,735
繰延税金資産	890,263	987,390
その他	1,446,058	1,036,136
貸倒引当金	△115,615	△132,598
流動資産合計	22,080,996	24,768,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,749,564	2,703,702
土地	1,304,269	1,304,269
その他(純額)	1,647,089	1,918,605
有形固定資産合計	5,700,923	5,926,578
無形固定資産		
その他	348,251	330,394
無形固定資産合計	348,251	330,394
投資その他の資産		
繰延税金資産	329,803	371,479
その他	1,318,722	1,357,006
貸倒引当金	△86,781	△103,833
投資その他の資産合計	1,561,744	1,624,653
固定資産合計	7,610,919	7,881,626
資産合計	29,691,916	32,649,895
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,894,384	6,135,461
短期借入金	6,740,983	8,370,014
1年内返済予定の長期借入金	1,589,624	1,432,548
未払法人税等	445,092	394,021
賞与引当金	411,350	238,330
製品保証引当金	154,790	275,375
その他	3,536,664	3,434,563
流動負債合計	19,772,890	20,280,314
固定負債		
長期借入金	2,546,732	3,758,881
リース債務	313,589	236,453
繰延税金負債	25,218	28,265
退職給付引当金	386,276	415,055
資産除去債務	10,305	12,784
その他	141,835	242,108
固定負債合計	3,423,957	4,693,547
負債合計	23,196,847	24,973,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,168	2,015,168
資本剰余金	1,905,410	1,912,364
利益剰余金	3,297,420	3,773,356
自己株式	△191,922	△167,173
株主資本合計	7,026,078	7,533,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△650	4,992
繰延ヘッジ損益	△82,996	—
為替換算調整勘定	△481,961	118,809
その他の包括利益累計額合計	△565,608	123,801
新株予約権	34,599	18,515
純資産合計	6,495,069	7,676,033
負債純資産合計	29,691,916	32,649,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	22,342,580	29,279,224
売上原価	13,233,639	15,766,726
売上総利益	9,108,941	13,512,498
販売費及び一般管理費	8,640,616	11,497,185
営業利益	468,325	2,015,312
営業外収益		
受取利息	27,778	14,769
受取配当金	1,739	2,619
受取保険金	—	50,203
貸倒引当金戻入額	13,353	—
その他	40,115	37,904
営業外収益合計	82,986	105,496
営業外費用		
支払利息	78,856	106,900
売上割引	43,899	71,776
為替差損	230,819	745,637
持分法による投資損失	161,233	137,519
その他	7,780	6,132
営業外費用合計	522,589	1,067,966
経常利益	28,722	1,052,842
特別利益		
固定資産売却益	23,196	19,324
新株予約権戻入益	—	8,210
特別利益合計	23,196	27,534
特別損失		
固定資産売却損	3,982	357
特別損失合計	3,982	357
税金等調整前四半期純利益	47,936	1,080,019
法人税、住民税及び事業税	190,504	697,011
法人税等調整額	△60,038	△186,480
法人税等合計	130,465	510,531
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△82,528	569,488
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△82,528	569,488

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△82,528	569,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,424	5,643
繰延ヘッジ損益	△166,914	82,996
為替換算調整勘定	86,747	601,247
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,138	△477
その他の包括利益合計	△85,729	689,410
四半期包括利益	△168,258	1,258,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△168,258	1,258,898

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。